



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年8月13日

上場会社名 オリエンタルチエン工業株式会社  
 コード番号 6380 URL <http://www.ocm.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

(氏名) 西村 武  
 (氏名) 金谷 武志

TEL 076-276-1155

配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	722	12.1	△8	—	△8	—	△8	—
2020年3月期第1四半期	821	△7.8	△8	—	△5	—	0	△98.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△6.10	—
2020年3月期第1四半期	0.38	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	3,771	1,381	36.6	996.40
2020年3月期	3,833	1,425	37.2	987.95

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 1,381百万円 2020年3月期 1,425百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,426	△13.2	△13	—	△17	—	△17	—	△12.46
通期	2,986	△8.6	10	△31.2	0	△95.4	0	—	0.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	1,467,233 株	2020年3月期	1,467,233 株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	80,647 株	2020年3月期	24,500 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	1,420,796 株	2020年3月期1Q	1,461,639 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、国内外において経済活動が制限され、急速な悪化が続く厳しい状況となりました。6月からは感染拡大の防止策を講じ、経済活動の制限を緩和しつつありますが、主要都市を中心に感染拡大の傾向にあるため、先行きは依然として不透明な状況が継続すると見込まれます。

このような状況下において当社は、市場の多様なニーズへの対応力を高め、受注拡大に向けての製品の差別化や、コスト削減、工場の生産性を高める取り組みを継続・強化してまいりました。しかしながら、製造業では生産調整等が行われ当社を取巻く市場の減速は大きく、また、当社の新たな3カ年計画に基づく営業活動も、新型コロナウイルス感染対策による訪問営業の自粛等により、十分な営業活動が行えない厳しい状況となり、売上は大きく落ち込みました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は722百万円（前年同四半期比12.1%減）となり、減収による影響で、営業損失8百万円（前年同四半期営業損失8百万円）、経常損失8百万円（前年同四半期経常損失5百万円）、四半期純損失8百万円（前年同四半期四半期純利益0百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期累計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「(3) 四半期財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）セグメント情報」の「II 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載しております。

## ①チェーン事業

国内では、食品機械業界向けが増加しましたが、工作機械業界向けが大きく減少し、また、主力の搬送機械業界向けも減少しました。一方、輸出においては、アジア、南米向けが減少しましたが、北米向けが回復しました。これらの結果、売上高は666百万円（前年同四半期比13.4%減）、営業利益は17百万円（前年同四半期比57.4%減）となりました。

## ②金属射出成形事業

医療機器分野を中心に受注拡大を図る営業活動を継続してまいりましたが、量産品の売上が減少しました。その結果、売上高は44百万円（前年同四半期比12.8%減）、営業利益は7百万円（前年同四半期比4.6%減）となりました。

## ③賃貸不動産事業

賃貸不動産事業につきましては、前期の7月からリニューアルした賃貸ビルの貸与を開始しており、売上高は10百万円（前年同四半期の売上高1百万円）、営業利益は6百万円（前年同四半期は営業損失5百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、3,771百万円で、前期末に比べて61百万円減少しました。これは、前期末と比べ、減収による売上債権の減少等を主要因として、流動資産が2,212百万円と68百万円減少したこと（受取手形が52百万円、売掛金が104百万円減少、現金及び預金が52百万円、電子記録債権が28百万円増加）、また、固定資産が1,559百万円と7百万円増加したことによるものです。

## (負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、2,390百万円で、前期末に比べて17百万円減少しました。これは、前期末と比べ、仕入商品減少等により仕入債務の減少、賞与の未払等の増加を主要因として、流動負債が1,500百万円と58百万円減少したこと（支払手形が27百万円、買掛金が29百万円、短期借入金が23百万円、賞与引当金が27百万円減少、その他の流動負債に含まれる未払費用が64百万円増加）、また、固定負債が890百万円と41百万円増加（長期借入金37百万円増加）したことによるものです。

## (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、1,381百万円で、前期末と比べ43百万円減少しました。主な要因は、自己株式の取得31百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前期末の37.2%から当第1四半期会計期間末は36.6%になりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月14日に公表いたしました業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日（2020年8月13日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	308,947	361,903
受取手形	336,207	283,262
電子記録債権	271,577	300,547
売掛金	498,303	393,738
商品及び製品	197,684	190,405
仕掛品	380,395	375,111
原材料及び貯蔵品	236,447	254,726
その他	51,777	52,761
貸倒引当金	△180	△160
流動資産合計	2,281,161	2,212,296
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	391,699	386,718
機械及び装置（純額）	464,745	469,571
土地	246,442	246,442
建設仮勘定	46,088	43,536
その他（純額）	51,960	52,326
有形固定資産合計	1,200,936	1,198,596
無形固定資産	21,053	19,618
投資その他の資産		
投資有価証券	82,126	79,076
その他	247,851	262,775
貸倒引当金	—	△412
投資その他の資産合計	329,977	341,439
固定資産合計	1,551,968	1,559,654
資産合計	3,833,129	3,771,951

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	452,773	425,278
買掛金	161,833	132,645
短期借入金	706,364	682,439
未払法人税等	21,024	14,292
賞与引当金	39,376	12,330
その他	177,820	233,373
流動負債合計	1,559,193	1,500,359
固定負債		
長期借入金	462,159	499,628
退職給付引当金	335,904	339,845
役員退職慰労引当金	27,890	27,890
その他	22,636	22,636
固定負債合計	848,590	890,000
負債合計	2,407,783	2,390,359
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,066,950	1,066,950
資本剰余金	168,230	168,230
利益剰余金	247,723	239,063
自己株式	△18,648	△50,219
株主資本合計	1,464,254	1,424,024
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△38,908	△42,440
繰延ヘッジ損益	—	8
評価・換算差額等合計	△38,908	△42,431
純資産合計	1,425,345	1,381,592
負債純資産合計	3,833,129	3,771,951

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	821,723	722,097
売上原価	699,846	624,374
売上総利益	121,877	97,722
販売費及び一般管理費	129,966	106,320
営業損失(△)	△8,088	△8,597
営業外収益		
受取利息	16	10
受取配当金	3,192	3,019
その他	3,404	1,512
営業外収益合計	6,613	4,542
営業外費用		
支払利息	2,555	2,763
売上割引	1,327	1,298
その他	21	328
営業外費用合計	3,904	4,390
経常損失(△)	△5,380	△8,445
特別利益		
投資有価証券売却益	8,010	—
特別利益合計	8,010	—
特別損失		
固定資産廃棄損	0	610
特別損失合計	0	610
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	2,629	△9,055
法人税、住民税及び事業税	13,831	11,133
法人税等調整額	△11,753	△11,529
法人税等合計	2,077	△395
四半期純利益又は四半期純損失(△)	551	△8,659

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	769,215	51,345	1,162	821,723	—	821,723
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	769,215	51,345	1,162	821,723	—	821,723
セグメント利益又は損失 (△)	41,399	7,636	△5,939	43,096	△51,185	△8,088

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	666,348	44,766	10,982	722,097	—	722,097
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	666,348	44,766	10,982	722,097	—	722,097
セグメント利益又は損失 (△)	17,637	7,287	6,564	31,489	△40,087	△8,597

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期累計期間より、従来「その他」に含まれていた「不動産賃貸事業」について金額的重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期累計期間のセグメントの情報は、変更後の報告セグメントの区分により作成したものを記載しております。